

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座では、下記の人を対象とする医学系研究に協力します。関係各位のご理解と御協力をお願い申し上げます。

2019年9月 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座 教授 小島祥敬

【研究課題名】

局所進行腎癌の予後と予後因子の探索（多施設共同研究）

【研究期間】

2019年9月～2025年3月

【研究の意義・目的】

転移のない局所進行腎がんは、手術を中心とした治療が行われていますが、薬物療法を組み合わせることも多くあります。ここ20年の間に腎がんに対する多くの新規薬物療法が開発され、実際多くの腎がん患者さんが新規治療薬による加療を受けています。これらの新規薬剤は、主に転移を有する腎がん患者さんを対象に効果が示されており、局所進行腎がん患者さんへの効果は必ずしも明らかではありません。私たちは、局所進行腎がんの患者さんの予後と、予後を予測する因子、薬物治療の効果等を検討し、これまでよりも正確に予後を予測するモデルを作成したり、それぞれの患者さんにあった治療が何かを調べるために、局所進行腎がんと診断された患者さんの臨床データを集積、解析を行います。

【研究の対象】

2008年1月から2018年5月に、局所進行腎癌（T3b, 3c, 4 転移なし）と診断され、福島県立医科大学附属病院で治療を受けた患者さんを対象とします。

【研究の方法】

本研究は、対象者の診療録から以下の情報を抽出します。情報は、山形大学医学部腎泌尿器外科学講座に電子配信してデータベース化されます。データベース化された情報が共同研究先に配布され、各施設でデータ解析されます。得られた知見は学会や論文として公表いたしますが、個人情報公表されることはありません。

性別、誕生日、腎癌初診日、最終観察日、転帰、他院紹介日、他院紹介で転帰がわからないか、他院紹介後積極的加療の有無、nephrectomy、nephrectomy日、nephrectomy前の全身治療の有無、再発日、ステージ、腫瘍栓の高さ、病理学的事

項、腎癌診断時の臨床項目（パフォーマンスステータス、WBC、Hb、血小板、好中球、リンパ球、LDH、ALP、カルシウム、アルブミン、CRP、肺転移、脳転移、肝転移、副腎転移、脾転移、骨転移、所属外リンパ節転移、その他転移）、全身治療の情報等

【研究組織】

本研究は、山形大学、弘前大学、秋田大学、岩手医科大学、東北大学、筑波大学、宮城県立がんセンターとの多施設共同研究です。

研究代表 主任研究者 内藤 整

山形大学医学部腎泌尿器外科学講座

住所：山形県山形市飯田西 2-2-2

TEL：023-628-5370

〈本学の研究実施体制〉

研究責任者	泌尿器科学講座	教授	小島祥敬
研究分担者	泌尿器科学講座	准教授	小川総一郎
	泌尿器科学講座	講師	赤井畑秀則
	泌尿器科学講座	博士研究員	胡口智之

【情報の提供方法】

得られたデータを匿名化し、パスワード付きのファイルとしてメールで送付いたします。

提供先：山形大学医学部腎泌尿器外科学講座 研究代表 主任研究者 内藤 整

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座

小川総一郎（准教授）

住所：〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

TEL：024-547-1316